

○ 設問C01_11: 本事例における重篤項目への該当について、あてはまるものすべてを選択してください(複数回答可)

区分	詳細内容 (以下の各項目をチェックする必要はありません。)	該当
重篤な身体的虐待	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱中症や低体温症など児童が危険にさらされる戸外への意図的な締め出し行為 ● 拘束・縛り付け・逆さ吊り・一室への閉じ込め・長期外出の禁止などの行為 ● 乳幼児を激しく揺さぶる行為(SBS/Abused Head Traumaの疑いを含む) ● 児童を踏みつける・頭部顔面や胸部・腹部を殴る蹴る ● 道具を使った体罰または暴力行為(重篤な外傷を伴う) ● 頭部顔面の外傷や頭蓋内出血 ● 眼底出血・網膜剥離・水晶体脱臼などの眼科所見 ● 内臓損傷または出血 ● 骨折・多発骨折 ● 特徴的な形状の創傷(带状痕、二重条痕等) ● 代理によるミュンヒハウゼン症候群(MSBP)の疑い ● 頸部絞扼または絞扼痕がある ● 溺れさせる(風呂に沈める) ● 鼻と口をふさぐ・乳幼児の場合は顔に布をかける ● 布団蒸し行為がある/疑われる ● 熱湯をかける・広範囲の熱傷がある/疑われる ● 異物や不適切な薬物を飲ませる・中毒症状 ● 受傷状況不明や受傷理由が不明な重度の外傷・骨折 ● 新旧が混在する創傷がある ● その他重篤な身体的虐待 	<input type="checkbox"/>
重度ネグレクト	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染症・乳幼児の下痢・慢性疾患・重度の外傷等があっても病院未受診 ● 乳幼児の遺棄・置き去り・放置(車内含む) ● 児童に監護責任者不在での夜間徘徊・放置 ● 脱水症・栄養失調・肺炎・敗血症等による児童の衰弱 ● 養育放棄、養育者が児童の養育(医療的対応含む)に関して無関心・拒否的・「世話をしたくない」等の訴えがある ● その他重篤なネグレクト 	<input type="checkbox"/>
性的虐待(疑い含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 性器・口腔・肛門への侵入を伴う行為 ● 直接または着衣の上から児童の身体に触る・触らせる行為 ● 性器や性交を見せる行為 ● 児童をポルノグラフィーの被写体にする行為 ● 児童に売春や援助交際を強要する行為 ● 養育者が着替えを覗いたり一緒に入浴することを強要するなどの行為 ● 性的描写のある物品を児童の見える状態にしている行為 ● 児童に対して卑猥な言葉を発する行為 ● 児童に性感染症や性器・肛門・下腹部の傷がある ● 被害内容不明であっても性的虐待の示唆がある ● 児童が年齢不相応な性的興味・関心および知識を持っている ● 性的虐待が懸念される環境や状況(加害者が児童に接触できる等)がある ● その他性的虐待(疑い含む) 	<input type="checkbox"/>
その他の重篤項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭内で、首を絞める等の窒息につながるDV 行為、刃物等の武器を用いたDV 行為(「殺すぞ」等の脅迫または暴力)が発生している ● 養育者によって、児童に不適切な薬物投与がなされている(意図的かどうかを問わない) ● 養育者が児童に心中や自殺を強要する行為・発言がある。児童に自傷行為や自殺企図がある。 ● 児童が帰宅を嫌がる・拒否する ● 児童自身が保護・救済を求めている ● 養育者が児童の保護・救済を求めている。現状解決されていない養育上の課題に対する解決方法を求めている。 ● 養育者から、「このままでは何をするかわからない」「児童を殺してしまいそう」などの自己制御困難に関する訴えがある ● 虐待行為の可能性が高いと判断されるにもかかわらず、養育者が虐待を否定する・認めない ● 養育者の自殺企図・親子心中の未遂・ほのめかし(死にたい/殺したい)がある ● 児童および養育者の居所が不明 ● 世帯が生活困窮状態にある(その日の生活に困る) ● 養育者や児童が、別の養育者に対して「殺されるかもしれない」「何をするかわからない」等の確信めいた不安や恐れを訴える ● きょうだいに虐待死・死因不明死・事故死情報がある 	<input type="checkbox"/>

● 共通項目表(項目1から20)

事例についてお答えください。				
○ 設問 : 事例について、下記項目の該当/非該当/不明・情報未取得を評定してください。				
項目名	詳細内容	該当	非該当	不明 情報未取得
支援/介入の困難/ 資源不足	<ul style="list-style-type: none"> ● 親族内に援助や介入の窓口になりそうなキーパーソンがいない ● 関係機関がいざという時に緊急支援できる状況がない ● 児童の状態や世帯の変化を常日頃モニターできる関係機関/地域社会の資源がない ● 関係機関の支援/介入が失敗または効果が得られなかった経過が過去にある ● 世帯内に支援の窓口となるキーパーソンがいない ● 当該事例に必要な支援資源がない、または利用できない ● 養育者および児童に必要な社会的・情緒的支援が不足状態にある 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
過剰なしつけ/ 体罰での暴力/ 正座等の強制/ 暴力のほのめかし	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者が、児童に対して言葉で暴力行為をほのめかす(「叩くぞ」などの脅し) ● 児童に対して、しつけ・体罰という理由での身体的暴力がある ● 養育者のしつけに過剰性、厳格性が感じられる ● 養育者が、児童に対して、正座や立ち続けることなどの身体的な苦痛を伴う長時間の姿勢の維持を強要している 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
養育者の都合が養育 より優先/ 生活が自己中心的	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童に必要な養育よりも大人の都合(夜遊びなど)が優先される ● 養育者に、自己中心的または思い込みの激しい態度が見受けられる ● 養育者の生活上の関心が、児童ではなく自分中心にある 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
児童の情緒的問題/ 対人距離/ 愛着課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童に、養育者への不自然な身体的・情緒的密着がある ● 児童が笑わない・表情が乏しい・視線が合いにくいなどの様子が見られる ● 児童が養育者に懐かない ● 児童に、周囲の大人に対する馴れ馴れしい態度がある ● 児童に情緒的/愛着課題が見受けられる(無表情、よく泣く、視線が合わない、怯え、不安、暗い、攻撃的、遊べない、感情コントロールができない、誰にでもベタベタ) ● 児童が激しい癩癩を起こしたり、噛みついたりするなど攻撃的である ● 児童が養育者以外の大人に過度なスキンシップを求める 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
態度から事態改善が 見込まれない	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者が、児童に対する態度を改善する意欲が乏しい ● 関係機関による支援・指導があっても、養育者の対応に変化がない/見込まれない ● 養育上の課題がある現状に対して、養育者の改善意欲がない 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
育児スキルの不足/ 不履行	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者が児童に必要な食事を与えていない(罰として食事を与えていない・食に対する偏った知識により必要ような栄養を与えていない場合を含む) ● 養育者が、児童の食事・衣服・学習用品など、必要な生活環境を整えていない ● 保健師や市町村等の支援がなければ、養育者は継続的に適切な養育ができない ● 主たる養育者が、授乳や入浴などの基本的な育児ケアができない ● 養育者に、育児に関する知識や技術の不足がうかがわれる ● 児童の食事・衣服・住居・医療的ケアなどが不適切 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

項目名	詳細内容	該当	非該当	情報未取得 不明
過去の心理的/ 身体的虐待歴	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童が、過去に繰り返し身体的な暴力を受けていた ● 児童が過去に、繰り返し心理的な暴力を受けていた 	○	○	○
養育者を過剰に支持する	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童が養育者を過剰に支持・サポートする様子がある 	○	○	○
怒りや突発的事態への対処困難	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者が自身の怒りをコントロールできない・キレやすい ● 養育者は、イライラすると児童に手が出てしまう ● 養育者が突発的な出来事に適切な対処ができない(パニックを起こす場合を含む) 	○	○	○
児童の育てにくさ	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者が児童の育てにくさを感じている 	○	○	○
養育者に対する挑発/ エスカレートする行為	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童に、「大声で喚く、反抗・抵抗する、ものを汚す・壊す」など、養育者を困らせる繰り返しあるいはエスカレートする行為がある ● 児童が養育者に対して挑発的な行動をとっていることが目につく 	○	○	○
支援の拒絶/ 回避/ 無関心/ 支援者への態度に一貫性がない	<ul style="list-style-type: none"> ● 正当な理由なく、養育者が援助者と児童との面会を拒否する ● 児童に虐待による外傷や養育上の問題があるにも拘らず、支援機関等の利用/援助に否定的・消極的 ● 支援者に対する養育者の態度や、支援への意欲が頻繁に変わる、あるいは一貫しない ● 関係機関による援助に対して、拒否や否定はしないが利用には至らない ● 養育者が、関係機関による援助の申し出やサービス利用に関心を示さない ● いずれの支援機関・関係機関も、養育者と連絡を取ることができない(養育者が連絡を取らない) 	○	○	○
精神科既往歴/ 不安定/ 判断力の減退/ 養育困難	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者に入院・加療が必要な精神状態(衝動性が高く極めて不安定な状態など)があり、育児・養育ができる状態ではない ● 養育者に判断力の著しい減退がある ● 養育者が、精神的な問題から適切な育児ができない状態が継続している ● 児童の事故に対する養育者の責任感が薄い ● 養育者に育児ノイローゼ・子育ての過度な負担がある ● 養育者に精神科の通院歴・既往歴がある ● 過去1年間の間に、養育者に精神的な問題による養育の困難が生じている ● 養育者が服薬の自己管理ができないなど、不安定な状態 ● 養育者にエネルギーが無く、自律的な行動や判断が取れない 	○	○	○

項目名	詳細内容	該当	非該当	不明 情報未取得
養育者の家庭外ストレス	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者が仕事での過度なストレスを抱えている 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
養育負担の偏り/ 夜間監護がない	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者が夜間勤務等により、夕方以降や夜間に児童を監護する大人がいない状況がある ● 育児の負担が、母親等一人の養育者に偏っている(パートナー等の同居者の協力が得られない) ● 養育者のうち少なくとも1人以上が、育児・養育を行う気が全くない 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
説明の回避/ 説明内容の疑念	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者が児童の創傷/癒痕(古傷)について説明できない/説明しようとししない ● 虐待行為が疑われる事柄に対して、養育者が説明する内容や証言に疑念が残る ● 養育者の言動に嘘が多い・疑われる 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
きょうだいの係属歴	<ul style="list-style-type: none"> ● きょうだいに虐待以外による相談歴・一時保護歴・措置歴等がある ● きょうだいに虐待(疑い含む)による相談歴・一時保護・入院・措置歴がある 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
摂食/ 排泄の異常/ 喘息やアレルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童に過食、拒食、異食がある ● 児童にアトピーや喘息がある//児童に夜尿/遺尿/遺糞がある 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
不適切な養育環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者や生活環境の様子から、今後、監督不十分により事故が発生する可能性が高いと考えられる ● 非衛生的など、児童の身体的健康を害する不適切な居住環境がある ● 生活環境が「ゴミ屋敷」状態、または、養育者に特定のため込み(ホーディング)がある ● 乳幼児が怪我をする可能性のある状態に置かれている(割れたガラスの放置・口に入れると危険なものが放置) ● 世帯に、放置された多数の動物が飼育されている 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経済不安/ 就労不安定	<ul style="list-style-type: none"> ● 養育者(生計者)の失業や転職が繰り返されている ● いずれかの養育者に、(就労が望まれていても)働く意思がない ● 世帯に医療費の未払いがある ● 過去1ヶ月の間に、児童の生活する世帯の収入元または収入額に大きな変化があった ● 世帯(同居人含む)に多額の借金がある ● 世帯に労働による所得者がいない/不安定な収入により生活が安定しない 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全仮想事例リスト

※表記は模擬事例となっているが、本文中にもあるように提示する際は、項目評定用仮想事例という表記になっている。

模擬事例#1：身体的虐待

- 本児（通告 5 歳男児）
 - 普段はぼーっとしており「疲れた、何もしたくない」と言うが、あるときは落ち着きが無く、園ではお友達を叩いたり、先生が注意をすると物に当たったり、親にも反抗的な態度がよく見られている。
 - 入園当初から他児への粗暴な行為が目立っていた
 - 一方で、母親がしんどそうな時は、「ママ大丈夫だからね、ママ頑張ってるよ」と過剰に声をかける場合もある。
-

通告の経緯・現在の状況

- 保育園から10月5日15時に貴組織に連絡・通告あり。以下概要
- コロナ禍でマスクをつけているが、マスクを外したら、左目の下に黒い痣があった。どうしたのか尋ねると、本人は「僕が悪いからママに叩かれた」と答える
- 福祉事務所が保育園を訪問して安全確認したが、本児答えず。
- 頭部顔面の殴打が疑われ、かつその他にも腕や太もも内側にも傷アザが見つかったため、貴組織に通告となった。
- 母は貴組織の訪問に拒否的で、ドアホン越しに「その傷は知らない。なんでうちに来るの？いつも階下の住人からもうるさいって苦情が来るし、誰も助けてくれないし。こっちはちゃんとやってるのに。もう来ないで・・・」と泣き崩れる。

家族構成

- 母
 - 本児 2 歳の頃に離婚し以来、母子家庭
 - 母は園の先生やお母さん友達と話す場面はほとんど見られず、園の先生曰く、母は子供に対する対応はそっけないとのこと。
 - 母親との個人面談で「うちの子、なんか育てにくくて、昔から手がでちゃうときがある」「もううち子育て無理かも、これ以上一人でやってたらあの子に何をするかわからない・・・」「もう園で上履きとかスモッグとか洗ってもらえないですか？」と話してくる。
 - 母は非正規職員で今年度末で契約が切れることから次の仕事を見つけなければという焦りがある。
- 内縁の夫
 - 最近では、内縁の夫と思われる男性の本児宅への出入りが目撃されている
- 父親
 - 本児2才の時に離婚、離婚理由は DV

検診・住居の変更

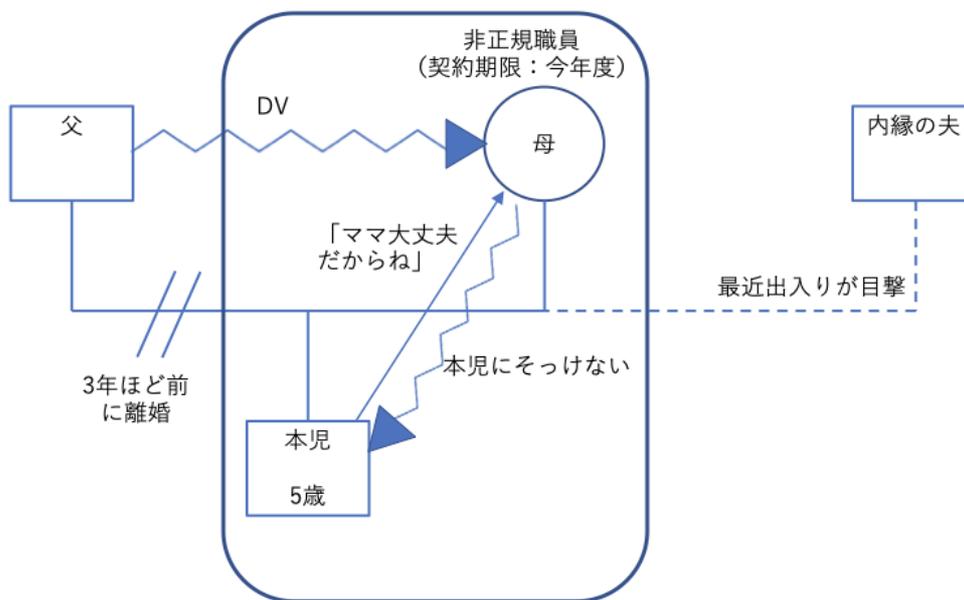
(B市居住時は予防接種や1歳半健診は受診)

2歳 両親離婚 (原因 : DV)

3歳 3歳児健診 未受診 (B市)

3歳 A市に転入

5歳 当該通告



模擬事例2：身体的虐待

- 本児（9歳女児：小学校3年生）
 - 学校では落ち着き無く、友達とのけんかも多い
 - 成績は中程度
 - 服装は普通。遅刻や忘れ物が多い
-

通告の経緯・現在の状況

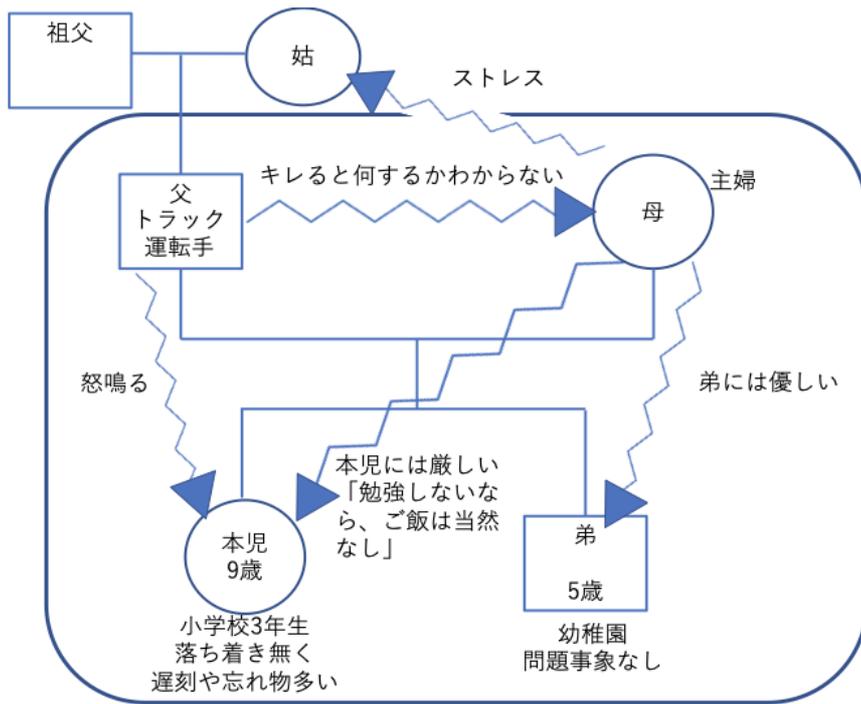
- 小学校から7月14日 13時に貴組織に連絡・通告あり。以下概要。
- 保健室にておなかや背中など見えにくい部分に新旧の傷アザがあり、理由を聞くと「お父さんから叩かれた。帰りたくない。助けてほしい」という話があった。
- 子供同士のケンカが多く、学校から連絡すると、母は「子供のけんかなんだから学校でなんとかして」とのこと
- 母は、姑がたまに来ることがストレスで、夫とも小競り合いが多い。
- 学校が母に傷アザのことを尋ねると、「この子が悪いから叩かれるのは仕方ない」「夫はキレると何をするかわからないので、私から言えない」。
- 母は弟には優しいが、本児には厳しく「勉強しないなら、ご飯は当然なし」と無視することが多い。そのため本児が泣いてもまったくあやさない。
- 貴組織の訪問に対して一切ドアを開けず居留守を決め込む。

家族構成

- 母
 - 高齢出産で38歳の時に本児出産。出産後は主婦
 - 毎日のように近隣の居酒屋に本児を深夜まで連れ回す
 - 弟には優しいが、本児には冷たく、「勉強しないからご飯なし」となることが多い
- 父
 - 長距離トラック運転手
 - 子育てにはあまり協力的ではない。夜は毎晩飲みに出歩き、キレると怒鳴る。包丁を持ち出し母と本児を脅すことがあった。
- 弟
 - 5歳男児。幼稚園に通っているが、問題事象などは無し

健診・住居の変更

- 本児童・弟ともに健診時は問題なし



模擬事例#3：身体的虐待

- 本児（通告時7ヶ月女児）
 - 帝王切開で出産
 - 身長体重は通常の発達曲線より少し下回る

通告の経緯・現在の状況

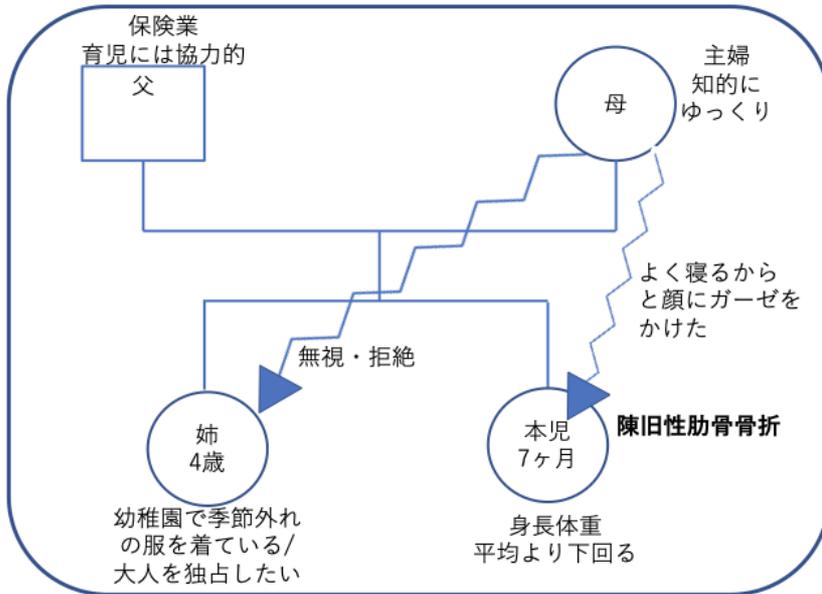
- 総合病院救急から12月28日16時に貴組織に連絡・通告あり。以下概要。
- 左脛骨骨折にて入院。入院時、咳と発熱があったため胸部レントゲン撮影をしたところ 右第6肋骨と第7肋骨前外側部に治癒したあとの陳旧性肋骨骨折が認められた。
- 両親は「足が腫れてきたので受診した。肋骨の骨折については思い当たる節が無い。」と言っているが、この年齢では特殊な場合じゃないと起こらない怪我
- 貴組織は病院に訪問し、母親に経緯を確認。「脚の骨折については、5歳の姉がソファの上で本児を抱き上げて立ち上がったところ、足を踏み外し、2人とも床に倒れこんだ。姉はしりもちをついた形になったが本児は前に転がった。激しく泣いて、まもなく脛が腫れてきたので受診した。肋骨の骨折については具体的に思い当たる出来事が無い。たまに姉が本児を強く押すことはあった」と話している。
- 医師は、「その程度では肋骨の骨折は起こらない」と話す。
- 病棟で見る限り本児・姉・母親に親子関係の異常は感じられないが、時折姉が母親に話しかけたことを母親が無視したり、「ここから近づかないで」と姉を拒絶・行動を制限することがあった。

家族構成

- 母
 - 主婦、厳格なベジタリアン
 - 子供の服装や子育てには無頓着
 - 少し知的にゆっくり
- 父
 - 保険業サラリーマン
 - 本児がよく寝るからと母が本児の顔にガーゼを掛ける時が何度かあり、それは危険だと母親を叱ったことがある
 - 育児には協力的
- 姉：4歳女児
 - 幼稚園に通園中、季節外れの服を着ていることがある
 - 園では大人を独占しようとすることがある

健診・住居の変更

これまで市区町村や保健センターなどの関わりも特にない



模擬事例#4：身体的虐待・ネグレクト

- 本児（3歳男児）
 - 保育園に入園中。担任保育士を独占しようとする傾向あり。
 - 最近少し表情が暗い。季節外れの服を着ていることがある。
 - 体重が増加せず、標準体重の-2.0SDを切るレベルの体重
-

通告の経緯・現在の状況

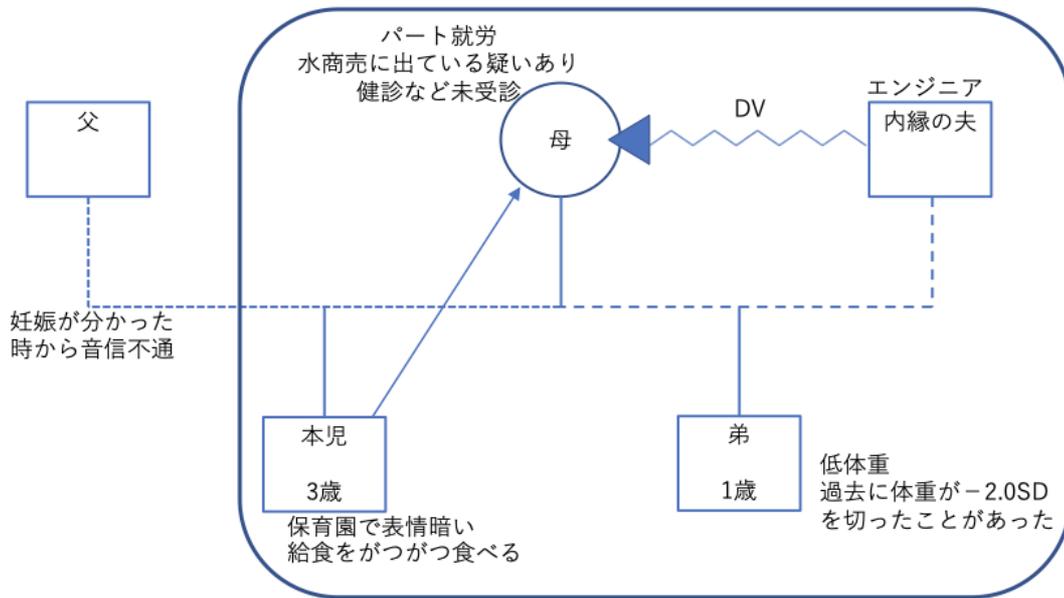
- 市民病院小児科から4月8日10時に貴組織に連絡・通告あり。以下概要
- 手首の痛みを訴えて受診。母は「公園の滑り台から落ちた際に手をついた」と話す。右手の手のひらの中の骨折を認める。
- 医師は「この部位は強い力で踏みつけられるなど相当強い圧迫がないと折れない部位」と話す。医師は母親の受傷状況の説明が気になり通告した。
- 両親は医師の所見に不信感や怒りを示しており「虐待なんかじゃない」と話すが、医師は検査入院とし、退院を待ってもらっている。
- 貴組織の聴き取りでは、本児は「手が痛い、滑り台から落ちた」とのみ話す。表情は暗い。滑り台から落ちたのは誰も見ていない。

家族構成

- 母
 - 母はパート就労中。夜間、水商売に出ている可能性が疑われていたり、母内縁の夫と母とも子どもを置いて飲みに出ているという情報あり。
 - ママとものライングループでのチャットが癒やし
- 内縁の夫
 - IT企業エンジニア
 - 内縁の夫は断続的にしか仕事をせず、文句を言った母に数度の暴力をふるった経緯があり、DVが疑われている
- 弟（1歳）
 - 低体重で出産。弟は体重増加が思わしくなく、4か月で体重低下があり、身長が正常範囲なのに体重が-2SDを切ったので保健師が強く勧めて病院受診させ、低栄養状態ということで入院となった経過がある。
- 父
 - 母が過去に付き合っていた男性。未入籍で、妊娠が分かった時から音信不通

健診・関係機関情報

- 保健センターの情報では、乳幼児健診未受診、訪問しても会えないことが多い家庭。
- 保育園からは給食をがつつ食べるという情報あり。
- 準ごみ屋敷状態で、生活習慣も乱れが激しい



模擬事例#5：ネグレクト

- 本児（5歳男児 保育園児）
 - 父親と母親は不妊治療を長年してきた結果、やっと授かったのが本児。
 - 本児は4歳時点で保育園に入所しているが、最近の3か月間はほぼ全欠状態。
 - 保育園担任から家庭訪問してきたが、会えるのは3回に1回程度。
 - 本児の体調が悪いとか、母の体調が悪いなどで訪問キャンセルも多く、訪問しても応答なしの場合もある。

通告の経緯・現在の状況

- 総合病院院内虐待対応チームから11月29日午前10時に貴組織に連絡・通告あり。以下概要。
- 5歳児の原因不明の意識障害。低酸素状態で救急搬送。救急処置で快復、おそらく喘息の発作による気道閉塞の可能性とのこと。今回は母が仕事から帰宅したら本児が倒れており、救急車を呼んだとのこと。なんでこうなったかは不明だがなんとかしてほしいと思っている。
- 本児の健康管理に関する重度ネグレクトとして通告があったもの。
- 本児の3歳上の兄は2歳の時に心不全で不審死している。
- 従来から放置ネグレクト、ヘルスケアネグレクトで過去に継続歴が貴組織であったケース。今回は、低酸素状態になってからすぐではなく、救急車を呼ぶまでに20分ほど時間経過していた。
- 本児は予期せぬ妊娠で出来た子どもで、本児が泣き止まない場合は叩くこともあり、新旧の傷アザがある。
- 母親は、本児の目の前で喫煙をしており、医師が何度注意してもやめない

家族構成

- 母
 - 母は近くにある介護施設に清掃補助のパート就労（本児の保育要件になっている）をしているが休みがちでまともに働けてはいない様子。
 - 家はごみ屋敷状態で物が散乱しており、風呂は使えているか不明。食事はコンビニ物が中心で調理はたまにする程度とみられる。
 - 一度コンビニに子どもを置いて母が先に帰ってしまうことがあった。
- 父
 - 父は現場労働者日雇いに近い就労形態だが、専門的な資格をもっており、しばしば夜間工事に出ている。

健診・関係機関情報

- 乳幼児健診、予防接種等はすべて受診してきているが、栄養状態や言葉の発達の遅れ、喘息の治療状況等の養育状況で要経過観察